

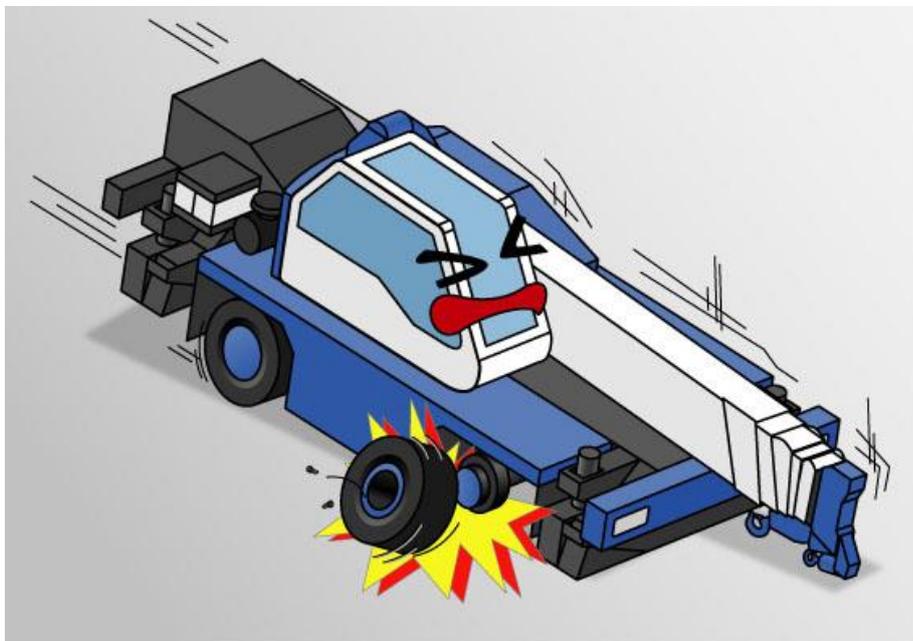
事故事例

走行中のタイヤホイール脱落事故

車両全般

事故発生状況

道路を走行中、ホイールナットが緩んでボルトが折損し、タイヤホイールが脱落した。

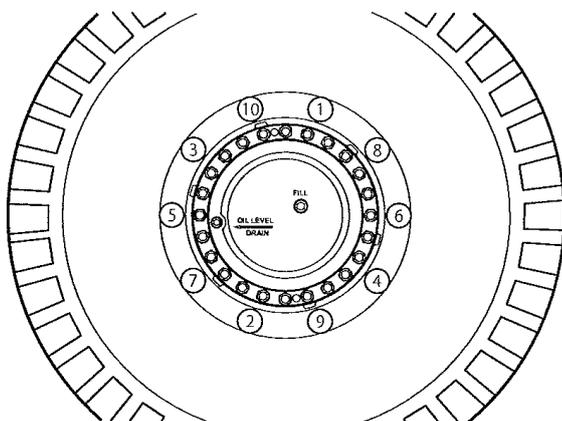


原因

- ・タイヤホイール取り付け時のホイールナット締め付け不足。
- ・ホイールナット取り付け面の錆(異物挟み込み)による締め付け後の緩み。

対策

タイヤホイール取り付け時、ホイールナットの取り付け面を確認しトルクレンチを使用して確実に締め付ける



<参考:GR-250N-2 ホイールナット締め付け手順>

- ・ホイールナットの締め付トルクおよびホイールナット、ボルトへのグリス塗布は、取扱説明書の記載内容を厳守してください。
 - ・ホイールナット取り付け面の錆や異物は、取り除いてから取り付けてください。
 - ・ホイールナットの締め付け順番は、左図を参考に対角線上で交互に行ってください。
 - ・タイヤホイール取り付け後は、約 50km 走行後に規定トルクで増し締めを行ってください。
 - ・運行前点検および定期点検を励行ください。
- ※詳細については、取扱説明書やメンテナンスノート、タダノサービス情報を参照ください。

異常を感じた場合は、直ちにタダノ指定サービス工場で点検・修理を受けてください。